

組合員自身で盛り上げていく生協

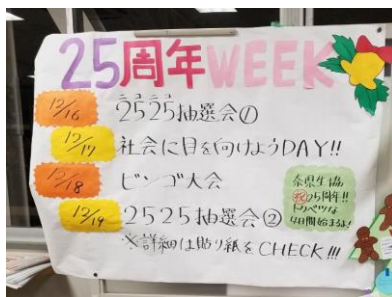
奈良県立大学生協は今年で25周年を迎えました。それを祝して自分たちの生協を自分たちでお祝いするというWEEKを作りました。このWEEKを通して、企画参加者は「私たちが私たちが作る生協だ」という意識を持つことが出来、キラキラしていました。

活動概要

【日時】2019年12月16日(月)～19日(木)

【参加者】奈良県立大学生協の組合員

【概要】4日間に分けて、組合員を対象にした抽選会、社会に目を向ける日、BINGO大会、一夜限りの居酒屋“まNPUく亭”を行いました。また、一週間を通して職員さんへのありがとうメッセージを集めました。



POINT.1

みんなで考える社会的課題



17日(火)は社会に目を向ける日と称して、非常食の食べ比べや防災グッズの紹介、平和についてをコメントしてもらう企画を食堂で行いました。楽しく実用的な内容でした。生協の記念年に社会的課題を扱うことで、学生委員だけでなく生協全体として社会的課題に目を向けていました。

POINT.2

学生も職員も教員も組合員



WEEK最終日には一夜限りの居酒屋“まNPUく亭”を開催しました。ここでは、学生と教員が大学生協の組合員として交流し合える良い機会になりました。生協職員の協力もあり、教職員の方に参加してもらいました。理事会において生協25周年の年表を見たりして、過去に生協に関わっていたという人々との繋がりを感じられました。25周年を祝うという趣旨であったので、終始楽しい雰囲気でした。

POINT.3

25周年、改めて感謝を。

このWEEK中に、食堂にはいつもお世話になっている職員、パートさんへの感謝のメッセージを書くコーナーが設けられていました。25周年というものが、日頃言えない気持ちを言える機会になっていました。



[機関運営]

×

[社会的課題]



奈良県立大学生協
生協25周年WEEK

